

異文化体験記 ◎和歌山県職員による「異文化体験記」です。

皆さん、はじめまして。和歌山県庁国際課の蒲原と申します。私は去年の9月に中国山東省に赴任しました。今回は、この中国赴任を通じて知ることが出来た現在の中国の情報をいくつか皆さんに紹介したいと思います。

まず、中国ではキャッシュレス決済が一般的になっているという事は日本でも有名ですね。そのキャッシュレス決済は単純な支払いに留まらず更に色々な機能を備えて中国の方の生活に深く根ざしています。例えば、お正月のお年玉がありますよね、このような風習は中国でも存在し、紅包（ホンバオ）と呼ばれています。この紅包も中国では既にキャッシュレス化されています。

どのようなものかという、チャットアプリでグループを作り、そのチャットグループに紅包を投稿します。すると、その投稿をクリックすることでお金を受け取ることが出来ます。

実はこの受け取りは早い者勝ちです。ですから、みんなが我先にとクリックすることになります。これがゲーム感覚で楽しめるので、中国の人はみんな大好きです。

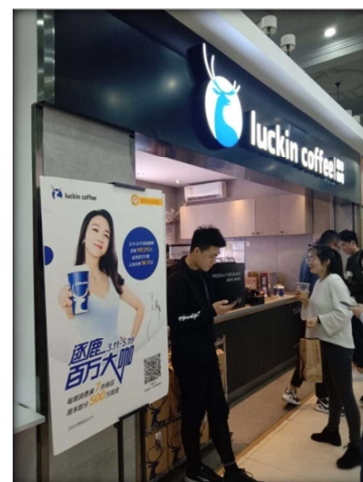
次に、レストランの決済も当然キャッシュレスが可能なのですが、これも更に便利になっています。多くのレストランで、注文から支払いまですべてアプリで行うことが出来るようになっています。レストランに入るとテーブルの上などにQRコードが貼ってあり、これを読み取るとメニューの画面に入ることが出来ます。そこから食べたいものを注文し、決済を行うことで完了します。簡単に出来ますし、店員さんを呼んで、メニューを見て注文して、最後に支払いをするという作業を省略出来るので大変便利です。特にファストフード店などではレジに並ぶ必要がなく、ストレスがたまりません。

また、今中国には凄い勢いで店舗を増やしている“ラッキンコーヒー”というコーヒー専門店があります。このお店では、専用のアプリを使って注文と支払いを事前に行っておきます。すると、お店につく頃にはコーヒーが出来上がっており、すぐに受け取ることが出来ます。キャッシュレス決済という点において中国は日本の何年も先に進んでいると思います。



【高速鉄道】

最後に紹介するのは中国の高速鉄道です。中国は日本と比べると大変広い国家で、私のいる山東省 だけを見ても、およそ 15 万km² の面積があります。この広い大陸を迅速に移動するために、中国は高速鉄道を



【ラッキンコーヒー】

急速に発展させており、その営業距離は2万kmを越えました。また、この高速鉄道は日本の鉄道と比べると大変安い価格で乗ることが出来ます。例えば、山東省の省都である済南市から海沿いの有名な都市である青島市まで約350kmありますが、およそ120元（日本円約2000円）で移動できます。羨ましいですね。

ただ、高速鉄道自体はまだまだ大変な赤字のようです。中国は高速鉄道の他、高層ビルも立ち並び、広大な国家にたがわぬ街のスケールにはただ圧倒されるばかりです。この国における積極的な先進技術の導入や街づくりにおける開発速度など良いところを今後の和歌山の街づくりの参考にしていければと思います。

〈蒲原大介(平成30年9月より中国山東省にて研修中)〉